放課後等デイサービスガイドライン事業者向け　　事業所名：こでまり　　回答者　4名　回答率　100%

日付：　令和6年3月11日

		はい	どちらもいえない	いいえ	未記入	改善内容・結論について
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4				
2	職員の配置数は適切であるか	1	3			出勤予定を作成後、ご利用者様の人数、状況を踏まえ、配置の検討を行います。
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4				現在車椅子のご利用者様はおりませんが、今後ご利用時には、スペースの確保、段差の解消を検討していきます。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標と振り返り）に広く職員が参画しているか	4				
5	保護者等向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4				
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1			ホームページ上に掲載しているため、保護者にも通信にてその旨を啓発していきます。
7	第3者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4			法人研修に限らず、外部研修を活発化させ、業務改善に繋げていきます。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2			千葉県主催の研修への参加、習志野市児童民間事業所連絡会の研修参加にも努めていきます。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				保護者及び相談支援事業所からのご要望を把握し毎月のミーティングで情報共有を行い、支援内容に反映していきます。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4				引き続き、支援終了後は個別で記録を行なっていきます。また、支援前には必ず内容を確認します。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	1	1		
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4				
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	1			
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4				
15	支援開始前には職員間で関らず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4				
16	支援終了後には、職員間で必ずうち打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	1			前日の支援後の記録を基に、当日のミーティングで情報を共有し、対応方法の確認・検討を行っていきます。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3			1	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組合わせて支援を行っているか	3			1	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	3			1	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4				
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3		1	
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1		1	
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3		1	ライフサポートファイルを通じて情報提供・情報共有を図っていきます。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1		1	ご利用者様からの内容で解決が困難な場合や事業所内での解決が見込めない事案が出た場合に基幹相談センター及びひまわり発達相談センター等に助言を求めることで対応していきます。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3		イベント活動や社会学習活動（町探検）を通じ、地域住民や商店街の方々との交流する機会を増やしていきます。
27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2		1	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	1			
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		3		1	
30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3			1	
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		3		1	必要なご相談があったときには記録をとり、法人内で対応できないときには必要な機関（基幹相談センター、ひまわり発達相談センター）につなげていきます。相談内容を子の場で終結しないように取り組むこととします。
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		3		父母の会、保護者会においての交流は法人の総会時に機会を設けていきます。
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4				
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4				
35	個人情報に十分注意しているか	4				
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3			1	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4				
38	緊急時対応アニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4				ホームページや書面等を通じて防災マニュアルや感染症への取り組み内容をご報告します。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1			
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4				身体拘束についての情報共有を日々のミーティングで行い、記録にも必ず残していきます。また、虐待防止に関する研修は法人内研修で必ず年1回以上は実施します。
41	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4				
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4				
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2			記録は徹底し、毎月の会議でその報告を行います。改善に向けての取り組みもしっかりと行います。

意見等

1 個室やコーナーを机を使って工夫している。

13 一部の利用者さんに限られている。

16 個別で記録を行い、共有している。

17 個人的には記録するのみで生かしたいができていない。

17 記録をもとにスタッフ間で共有し、検証、改善を図っている。

23 ライフサポートファイルを通じて、情報共有を行っている。

28 送迎時に状況確認を行っている。

38 個人的には不安。避難訓練のように継続的に確認できれば良いと思う。

40 先日プリントをもらったばかり。

43 個人的には活用できていない。